

(衛生法規に関する知識) R 7

解答

1 次の文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を()に記入しなさい。

- (1) (○) クリーニング師は、クリーニング所全体の衛生管理を統括する専門職である。
- (2) (○) クリーニング師の役割の一つに、感染症や災害が発生した場合の事業継続計画（BCP）の策定等に積極的に関与し、感染症や災害が発生した際には、当該クリーニング所において、適切な感染防止対策や災害被害の軽減・復旧等に取り組むことが挙げられる。
- (3) (×) セルフサービスによる「コインオペレーションクリーニング施設（通称コインランドリー）」は、クリーニング業に該当する。
- (4) (×) 「クリーニング所」とは、洗濯物の処理をする営業者の施設をいい、受取及び引渡しのみを行う施設は含まない。
- (5) (×) 洗濯物は、洗濯又は仕上げを終わったものと終わらないものに区分しておかなければならないが、洗濯物を処理する場合は、その用途に応じ区分して処理しなくてもよい。
- (6) (○) クリーニング所は、居室、台所、便所その他の施設と隔壁等により区画され、換気が十分行える構造設備を有していなければならない。
- (7) (○) 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。
- (8) (×) 営業者がクリーニング師であって、自ら、主としてひとつのクリーニング所においてその業務に従事する場合であっても、当該クリーニング所には、営業者以外に必ず1人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- (9) (×) クリーニング所を廃止するときは、あらかじめ都道府県知事（保健所を設置する市又は特別区については市長又は区長）に届け出なければならない。

- (10) (×) 営業の譲渡により営業者の地位を承継する営業者は、あらかじめ都道府県知事（保健所を設置する市又は特別区については市長又は区長）の承認を得なければならない。
- (11) (×) 法第 6 条に規定するクリーニング師の免許を受けようとする者は、申請書と添付書類を添えて、現住所地の都道府県知事に申請しなければならない。
- (12) (×) 都道府県知事（保健所を設置する市又は特別区については市長又は区長）は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不適当と認めるときは、速やかにその業務を停止しなければならない。
- (13) (○) クリーニング業法第 4 条に定めるクリーニング師の設置規定に、違反していると認められるときは措置命令の対象となる。
- (14) (○) クリーニング所の開設について虚偽の届出をした者は、5,000 円以下の罰金に処する。
- (15) (○) クリーニング業法第10条第 1 項の規定による当該職員の立入検査を拒み、妨げ、又は忌避した者は、2,000円以下の罰金に処する。

2 次の文の（ ）の中にあてはまる、最も適当な語句をそれぞれの語群から1つ選び、その記号を記入しなさい。

- (1) クリーニング業法は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び（ イ ）を行い、もってその経営を（ オ ）に適合させるとともに、利用者の（ エ ）を図ることを目的とする。

【語群】

- | | | |
|----------|----------|---------|
| ア. 健康の保持 | イ. 取締り | ウ. 衛生基準 |
| エ. 利益の擁護 | オ. 公共の福祉 | カ. 支援 |

- (2) クリーニング所を開設しようとする者は、（ エ ）の定めるところにより、クリーニング所の位置、構造設備及び（ ア ）並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事（保健所を設置する市又は特別区については市長又は区長）に届け出なければならない。

【語群】

- | | | |
|-----------|---------|-------------|
| ア. 従事者数 | イ. 条例 | ウ. クリーニング師数 |
| エ. 厚生労働省令 | オ. 営業時間 | |

- (3) クリーニング所においては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地及び（ オ ）を店頭に掲示しておくとともに、洗濯物の受取及び引渡しをしようとする際に、当該掲示事項を（ ア ）する。

【語群】

- | | | |
|--------------|---------|----------|
| ア. 記載した書面を配布 | イ. 代表者名 | ウ. 口頭で説明 |
| エ. 営業時間 | オ. 電話番号 | |

- (4) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、（ ア ）した後（ イ ）以内に都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受けなければならない。また、この研修を受けたあとは、（ ウ ）を超えない期間ごとに研修を受けなければならない。

【語群】

- | | | |
|----------|-------|----------|
| ア. 業務に従事 | イ. 1年 | ウ. 3年 |
| エ. 半年 | オ. 5年 | カ. 免許を取得 |

- 3 クリーニング業法第3条及び同法施行規則に規定する、洗濯をする前に消毒を要する洗濯物を、下の語群ア～コの中から5つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

ただし、洗濯物は伝染性の疾病にかかっていない者又はかかっているおそれのない者が使用したもので、営業者に引き渡される前に消毒されていないものとする。

<語群>

- ア．家庭で使用された布おむつ
イ．飲食店で使用されたおしぼり
ウ．自動車工場で組立てライン従事者が着用した作業着
エ．飲食店で使用されたテーブルクロス
オ．介護福祉施設で入所者が使用した下着のパンツ
カ．病院で療養者が使用した寝具
キ．家庭で使用されたタオル
ク．旅館で宿泊者が使用した寝具
ケ．家庭から出された血液が付着した服
コ．貸衣装として使用された浴衣

<解答欄>

ア	イ	オ	カ	キ
---	---	---	---	---

(公衆衛生に関する知識) R 7

解答

1 次の文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）に記入しなさい。

- (1) (×) おしぼりの衛生的処理等に関する指導基準では、一般細菌及び黄色ブドウ球菌のいずれも検出されてはならない。
- (2) (×) 感染を防ぐために、流水と石鹼による「手洗い」及び消毒用エタノールを使用した「うがい」が効果的である。
- (3) (×) ドアノブ、スイッチなど人の手がよく触れる場所の消毒は、アルコール性消毒剤を広範囲に噴霧することが推奨される。
- (4) (○) 多くの微生物は湿潤環境を好むため、洗濯物は乾燥状態で保管することが望ましい。
- (5) (×) 黄色ブドウ球菌は塵埃（じんあい）として空中に浮遊し、それを吸入することで感染する。
- (6) (×) 従業者が単純性疱疹にかかった場合、マスクや手袋を着用させる等、感染予防対策に十分配慮して作業に従事させる。
- (7) (○) 新型コロナウイルス感染症患者の使用したリネン類は、通常の洗濯・乾燥の後は感染のリスクは低く、安全に取り扱える。
- (8) (○) 建築基準法では、引火性溶剤を使用するドライクリーニング工場は、住居系地域や商業系地域における立地を禁止している。
- (9) (○) 引火性溶剤は、容易に蒸発しやすく、また、引火しやすい性質を持っているので、できるだけ引火点が高い溶剤を選択する。
- (10) (×) テトラクロロエチレンを含む廃油を排出する場合は、必ず特別管理産業廃棄物管理責任者を設置しなければならない。
- (11) (○) 水質汚濁防止法において、有害物質使用特定施設の点検を行い、その結果を記録し、3年間保存することが義務づけられている。

- (12) (×) ドライクリーニング機の排液処理装置から排出されるテトラクロロエチレンの管理基準濃度は3 mg / L以下となっている。
- (13) (○) ドライクリーニングで使用される石油系溶剤は、有機溶剤中毒予防規則において、「第三種有機溶剤等」に分類される。
- (14) (×) 大気汚染防止法では、大気中への揮発性有機化合物の排出・飛散の削減が義務付けられている。
- (15) (○) 土壌汚染対策法では、有害物質使用特定施設の使用を廃止した場合の土壌調査・報告義務が定められている。

2 次の文の（ ）の中にあてはまる、最も適当な語句をそれぞれの語群から1つ選び、その記号を記入しなさい。

- (1) 憲法第25条で「すべて国民は、(イ)で文化的な(ウ)の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び(オ)の向上及び増進に努めなければならない。」とされている。

【語群】

ア. 幸福	イ. 健康	ウ. 最低限度
エ. 最高	オ. 公衆衛生	カ. 保健衛生

- (2) クリーニング所における衛生管理要領において、消毒効果を有する洗濯方法として、さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素が(エ)以上の液に(キ)℃以上で(カ)分間以上浸し、終末遊離塩素(イ)以上になるような方法で漂白する工程を含むものとしている。

【語群】

ア. 50 p p m	イ. 100 p p m	ウ. 150 p p m
エ. 250 p p m	オ. 3	カ. 5
キ. 30	ク. 50	

- (3) 3R(スリーアール)活動とは、廃棄物の発生抑制を意味する(オ)、再利用を意味する(カ)、再資源化を意味する(ア)の頭文字をとった省資源化対策の取組みである。

【語群】

ア. リサイクル	イ. リターン	ウ. リリース
エ. リプライ	オ. リデュース	カ. リユース

3 次のA群の語句と最も関係の深いものをB群から選び、線で結びなさい。

(A群)		(B群)
S D S	•	代替フロン
S F T S	•	重症熱性血小板減少症候群
HFC-365mfc	•	揮発性有機化合物
P R T R	•	化学物質排出移動量届出制度
V O C	•	安全データシート

(洗濯物の処理に関する知識) R 7

解答

1 次の文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）に記入しなさい。

- (1) (○) ランドリーは、強い機械力や高い温度、高いpH、長時間洗浄、漂白剤併用など、クリーニング方法の中では最も汚れをよく落とす洗浄方法である。
- (2) (×) 毛皮は熱に強いので、仕上げは全体にアイロンをかけてから、毛並みをブラッシングあるいはグレイジングマシン（艶出し回転ロール）で整える。
- (3) (×) ニットやサテンなど引っかかりやすい組織の生地面に面ファスナーを使用した商品では、着用や洗濯取扱い時には面ファスナーを開けておく必要がある。
- (4) (○) レーヨン織物製品の中には、濡れただけで繊維が大きく膨潤し、激しく収縮するものもある。
- (5) (○) ポリエステルは他の繊維に比べて染料が入り込みにくく、高圧染色で染料を押し込んで染色している。
- (6) (○) 濃色の衣料品の表面が白っぽくなる現象や、チョークで線をひいたように（チョークマーク）見える現象を総称して白化と言う。
- (7) (○) 人工毛皮（ファー）衣料は、熱収縮を起こしやすいので、低温乾燥（ドラム入口 60℃以下）とする。
- (8) (○) カーペットのシャンプー洗いは、基布まで濡らすと問題を起こすものや、取外しが困難な敷きつめカーペットの洗浄に用いられる。
- (9) (×) 二重環縫いは、カッターシャツなどの織物の縫製で多用され、地縫いとほつれ止めを同時に進める縫い方である。
- (10) (○) 繊維内部に酸化チタンなど紫外線を散乱させる物質を配合した合成繊維を使用した衣料品は、人体に有害な紫外線をカットして皮膚を保護する効果が期待できる。

- (11) (×) 織物において、糸の交絡数が多い順に、朱子織＞平織＞綾織となる。
- (12) (×) ススや土、金属粉などの不溶性のシミは、酵素や有機溶剤などを使用して水溶性・油溶性に戻して除去する。
- (13) (○) ドライクリーニングは、比較的強い機械力をかけても洗濯物にダメージを与えにくい反面、有機溶剤を使用し、それを再生しながら繰り返し使用するという制約がある。
- (14) (○) 短繊維製品は毛玉（ピリング）が生じやすく、長繊維製品は引きつれ（スナッグ）が生じやすい。
- (15) (×) 衣料用ニットの代表的な編み方であるよこ編は、編成方向がよこであるため、ストライプ柄が得意となる。

2 次の文の（ ）の中にあてはまる、最も適当な語句をそれぞれの語群の中から1つ選び、その記号を記入しなさい。

- (1) 日本で最も多く使用されているドライクリーニングの（ ウ ）は、ほどよい溶解力で比重が（ エ ）ので、ソフト洗浄に適している。

【語群】

ア. 大きい イ. シリコーン溶剤 ウ. 石油系溶剤
エ. 小さい

- (2) シミ抜きに使用する溶剤や薬品は、通常の「洗い」で使用するものよりも（ ア ）や酸・アルカリの度合いがはるかに強く、洗濯物に対する影響が非常に（ エ ）。

【語群】

ア. 溶解力 イ. 固定力 ウ. 小さい
エ. 大きい

- (3) 溶剤管理の「酸価」とは、（ ア ）のドライ溶剤中に含まれる（ オ ）を中和するのに必要な（ カ ）の量(m g)のことである。

【語群】

ア. 1 m L イ. 10m L ウ. 短い
エ. アミノ酸 オ. 脂肪酸 カ. アルカリ物質
キ. 酸性物質

- (4) 洗濯物の乾燥工程について、（ イ ）は、品物をドラムで回転させながら乾燥するので、（ ウ ）が少なく、乾燥効率が良く、シワも良く（ オ ）。

【語群】

ア. 静止乾燥機 イ. タンブル乾燥機 ウ. 乾きムラ
エ. ボタンの破損 オ. 伸びる カ. 伸びない

3 次のA群の語句と最も関係の深いものをB群から選び、解答欄にその記号を記入しなさい。

(A群) 繊維名	解答欄
(1) 綿	ア
(2) 絹	ウ
(3) 羊毛	エ
(4) ポリエステル	オ
(5) ナイロン	イ

(B群) 繊維の特徴

ア. 柔らかい風合いで吸湿性に優れるが、シワになりやすく乾きにくい。

イ. 耐熱性は劣る。スポーツ衣料やストッキングなどに多く用いられる。

ウ. 独特の風合い、光沢がある。丁寧な取扱いやメンテナンスが必要。

エ. 冬用下着やセーター、マフラー等の防寒着に多用される。

オ. 世界の合成繊維のうち最も生産量が多い。